

高崎市大規模盛土造成地マップ

はじめに

阪神・淡路大震災や東日本大震災等では、大規模盛土造成地において、滑動崩落と呼ばれる現象が発生して宅地や公共施設に大きな被害が発生しました。

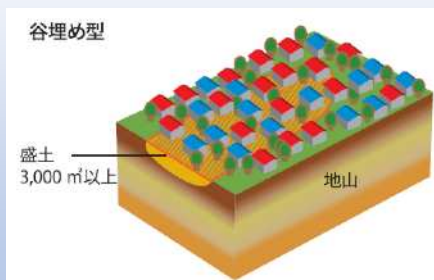
国ではこのような災害を未然に防止し、又は軽減するため、宅地耐震化推進事業を創設し、調査・検討手法を示した「大規模盛土造成地の滑動崩落対策推進ガイドライン及び同解説」を策定しています。

この大規模盛土造成地マップは、高崎市が実施した調査の結果をもとに作成したものであり、上記ガイドラインに基づき公表するものです。

大規模盛土造成地とは

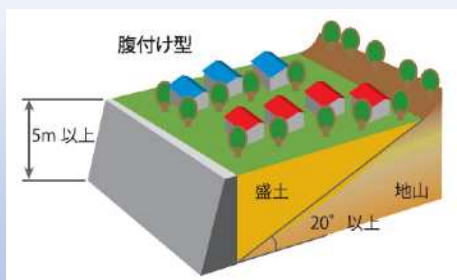
1) 谷埋め型大規模盛土造成地

谷を埋め立てた造成地で、盛土の面積が3,000㎡以上のもの



2) 腹付け型大規模盛土造成地

傾斜地に盛土を行った造成地で、地山（造成を行う前の地盤）の角度が20度以上、かつ、盛土の高さが5m以上のもの



(国土交通省ホームページより)

滑動崩落とは

地震時に、造成地における盛土全体または大部分が、主として盛土と地山との境界面をすべり面にして、造成前の地形に沿って盛土が動いたり、崩れたりする現象のことです。

【宅地の耐震化に関する情報について】

●宅地防災トップ - 国土交通省 <https://www.mlit.go.jp/toshi/web/index.html>

大規模盛土造成地マップの作成方法

造成地は山を削ったり、谷を埋めたりしてつくられているため、宅地造成の前後では地形（具体的には地盤の高さ）が変化しています。

そこで、造成前後の地形図などを重ね合わせて比較をすることで、造成後の地盤の高さが造成前よりも高くなっているところを判別して、盛土造成地を把握しました。

盛土の位置と規模を把握し、大規模盛土造成地の要件を満たすものを抽出しています。

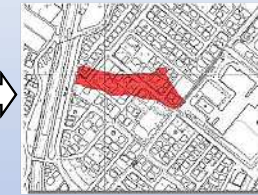
現況地形図



重ね合わせによる判別



盛土造成地の位置の把握



旧地形図



(国土交通省「大規模盛土造成地の滑動崩落対策推進ガイドライン及び同解説」より)

大規模盛土造成地に関するQ&A

Q. マップに示されている箇所は危険ということですか？

大規模盛土造成地マップは、大規模に盛土を行い造成された宅地の位置を示したものであり、マップに示されている大規模盛土造成地が必ずしも危険ということではありません。

Q. もっと詳細なマップは公表しないのですか？

1万分の1縮尺の大規模盛土造成地マップが開発指導課の窓口で閲覧可能です。なお、このマップは各地形図等の重ね合わせで作成しているため、精度誤差が生じる可能性があることを予めご了承ください。

Q. 大規模盛土造成地の中にある土地は、何か特別な手続きが必要ですか？

大規模盛土造成地内において土地の開発や建物の建築を行う場合でも特別な手続きが加わることはありません。

しかし、ご自身でも宅地や周辺の擁壁に変状（膨らみ、石抜け、連続した亀裂等）や水漏れが無いかな等を日頃から気にかけていると、いざという時の災害防止につながります。

【問い合わせ先】

高崎市 建設部 開発指導課

高崎市高松町35-1

TEL027-321-1356